

お客様ご自身では据付けしないでください。(安全や機能の確保ができません)

- ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
- 添付別紙の「三菱電機 ご相談窓口・修理窓口のご案内」とともに保管してください。

この製品は日本国内用です。日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。  
This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.  
No servicing is available outside of Japan.

# 1.安全のために必ず守ること

●図記号の意味は、次のとおりです。

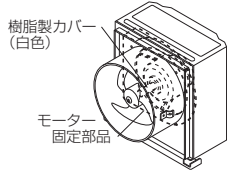
	禁止		水ぬれ禁止		分解禁止		接触禁止		指示に従う
--	----	--	-------	--	------	--	------	--	-------

●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

警告	注意
<p> <b>禁止</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ガス漏れに気付いたときは、換気扇(電気器具その他)のスイッチの入・切や電源プラグの抜き差しをしない 爆発・引火の原因。</li> </ul>	<p> <b>注意</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●本体に異常な振動が発生した場合は使用しない 本体・部品の落下によるけがの原因。</li> </ul>
<p> <b>水ぬれ禁止</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●製品に直接水やお湯、かび取剤などをかけない ショート・感電の原因。</li> </ul>	<p> <b>禁止</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●直接炎があたったり、油煙の多い場所や有機溶剤のかかる場所には据付けない。また、使用しない 火災の原因。</li> </ul>
<p> <b>分解禁止</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●改造や分解はしない 火災・感電・けがの原因。 修理はお買上げの販売店または「三菱電機 ご相談窓口・修理窓口」にご相談ください。</li> </ul>	<p> <b>接触禁止</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●運転中は羽根の中に指や物を入れない けがの原因。</li> </ul>
<p> <b>指示に従う</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが、電気的に接触しないよう据付ける 漏電・発火の原因。</li> <li>●交流100Vを使用する 直流や交流100V以外を使用すると感電の原因。</li> <li>●異常・故障時には、直ちに使用を中止する 発煙・発火、感電、けがの原因。 〈異常・故障例〉 本説明書末尾の「愛情点検」をご参照ください。</li> <li>●お手入れの際は電源プラグを抜くか分電盤のブレーカーを切る 感電・けがの原因。</li> <li>●外気取入口は、燃焼ガスなどの排気口より離れた位置に設ける 室内の酸欠の原因。</li> </ul>	<p> <b>指示に従う</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●据付けやお手入れの際は手袋を着用する 着用しないとけがの原因。</li> <li>●部品の据付けは確実に 落下によるけがの原因。</li> <li>●本体の据付けは十分強度のあるところを選んで確実に 落下によるけがの原因。</li> <li>●電気工事は電気工事士の方が電気設備の技術基準や内線規程に従って安全・確実に 接続不良や誤った電気工事は感電・火災の原因。</li> <li>●室内側に必ず吸込口(グリル)を据付ける</li> <li>●長期間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜くか分電盤のブレーカーを切る 絶縁劣化による感電・漏電火災の原因。</li> </ul>

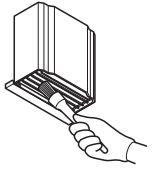
# 警告

- モーター軸の樹脂製カパー(白色)は絶対に抜いたり、傷付けたりしないでください(感電やけがの原因)
- フード内部のモーター固定部品に水をかけないでください(ショートや感電の原因)
- お手入れの際は電源プラグを抜くか分電盤のブレーカーを切る(感電・けがの原因)



# 清掃

- フードの汚れは、ぬるま湯(40℃以上)に浸した布をかたくしぼってふいてください。フードの汚れのひどい場合は、薄めた中性洗剤を浸した布で汚れをふき取り、洗剤が残らないように乾いた布でよくふき取ってください。
- 吸込口・ギャラリに付いたほこりは、ブラシなどで落としてください。  
※金属のブラシ等、硬いブラシを使用すると、傷・サビの原因となりますので使用しないでください。



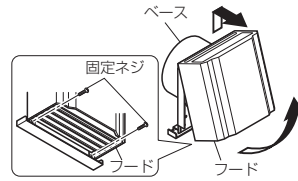
# お願い

- 洗剤などをご使用の場合は中性洗剤をご使用ください。
- お手入れの際、モーター・羽根に衝撃を与えたり、モーター固定部品に無理な力をかけないでください。(故障や異常音発生の原因)

- フードは取りはずすこともできます。  
フード内部の汚れのひどい場合は、掃除機等で吸い取ってください。

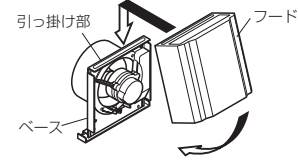
## 1. フードのはずしかた

- フード下部にある2本のフード固定ネジをはずし、フードを手前に持ち上げてははずす。  
※ネジは着磁したドライバーに付かないため、紛失に注意してください。



## 2. フードの据付け

1. フードをベース上部の引っ掛け部に引掛け、元通り据付ける。  
※1.4N・m以下の締めトルクで締め付けてください。
2. 据付け後、次の確認をする。  
(1) フードが確実に据付けられていますか。  
(2) 異常な音が出ていませんか。  
(必ず運転をして確認してください)



# 6. 修理を依頼する前に

- 次のような症状があれば点検してください。点検・処置をしても直らない場合、または下記以外の現象が生じた場合は、事故防止のため分電盤のブレーカーを切り、お買上げの販売店または、工事店にお申しつけください。

こんなとき	原因	点検・処置
スイッチを入れても羽根が回転しない	電源プラグがコンセントに差し込まれていませんか 分電盤のブレーカーが切れていませんか	差し込みます 「入」にします
運転中に異常音や振動がする 吸い込みが弱い	フード・ベースが確実に据付けられていますか フード・モーター固定部品にほこり・異物がつまっていますか 吸込口(グリル)にほこりがつまっていますか	据付け直します 清掃します
羽根が逆転する、回転が遅い、または不規則	外風の影響にて発生する可能性があります	無風状態で確認します

- モーターの軸受は回転がなじんで時間が経つにつれ、音が変わることがありますが異常ではありません。

# 7. アフターサービス

ご不明な点や修理に関するご相談は、お買上げの販売店がお近くの「三菱電機 ご相談窓口・修理窓口のご案内」(別紙)にご相談ください。

※別紙チラシが不明な方は下記窓口にお問い合わせください。

- 平日 9:00~12:00 13:00~19:00 (土・日・祝・弊社休日以外)  
換気送風機技術相談センター 電話 0120-726-471
- その他の時間  
お客様相談センター 電話 0120-139-365

長年ご使用いただくためには換気扇のメンテナンスが必要です。モーターは消耗部品です。

## ■補修用性能部品の保有期間

当社は、このパイプ用ファンの補修用性能部品の、製造打切り後6年保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

# 8. 仕様

電圧 100V

形名	周波数(Hz)	消費電力(W)	風量(m³/h)	室外騒音(dB)	室内騒音(dB)	質量(kg)
V-08PPR	50	5.9	75	34	36	0.9
	60	6.4	90	39	40	

※特性はJIS C 9603に基づく。ただし、室内騒音は壁厚100mm、給排気グリルP-13GL6(別売)組み合わせ時の無響室における、室内側給排気グリル正面、左右1mの騒音値の平均値です。

愛情点検	☆長年ご使用の換気扇の点検を!
<p></p> <p>ご使用の際このようなことはありませんか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●壁スイッチを入れても羽根が回転しない。</li> <li>●運転中に異常音や振動がする。</li> <li>●回転が遅いまたは不規則。(モーターはメンテナンスが必要な部品です)</li> <li>●こげ臭いにおいがする。</li> <li>●本体据付部に腐食、破損などがある。</li> </ul> <p><b>使用中止</b></p> <p>故障や事故防止のため、電源を切って必ず販売店にご連絡ください。点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。</p>

# 2. 各部のなまえ

裏面の据付説明書「2.各部のなまえと外形寸法図」をご確認ください。

# 3. ご使用にあたってのお願い

- 換気扇設置場所で中性以外の洗剤や消毒剤などを頻繁に使用すると寿命が短くなる場合があります。
- お手入れに下記の溶剤・洗剤を使用しないでください(中性洗剤をご使用ください)。  
シンナー、アルコール、ベンジン、ガソリン、灯油、スプレー、酸性洗剤、アルカリ性洗剤、化学ぞうきんの薬剤、クレンザーなどの研磨材入りの洗剤、殺菌剤、消毒剤など(異常音の発生、変質、変色、塗装ががれの原因)

# 4. 使用方法

運転は壁のスイッチで運転開始と停止を行います。  
(スイッチの設置がされていない場合は、本体電源プラグの挿抜。)

# 5. お手入れ

安全にご使用いただくために、必ず定期的な点検(年1回程度)を行い、フード内のほこりごまりのひどい場合は清掃を行ってください。

## 点検項目

- 異常音や振動がないか?
  - 製品の据付け状態は正常であるか?
  - 製品各部に著しいサビや塗装の浮きなどがないか?
  - シール材、コーキング材に亀裂など、劣化していないか?
- ※点検の結果、異常が見つかった場合は、修理・部品(製品)の交換をお買上げの販売店、工事店に依頼してください。

- 長い間ご使用の換気扇は、使用上支障がなくても安全のための点検(「愛情点検」を参照ください)をお願いします。

据付け終了後は、必ずこの説明書をお客様にお渡しください。

据付けを始める前に、必ずこの説明書をお読みにになり、正しく安全に据付けてください。

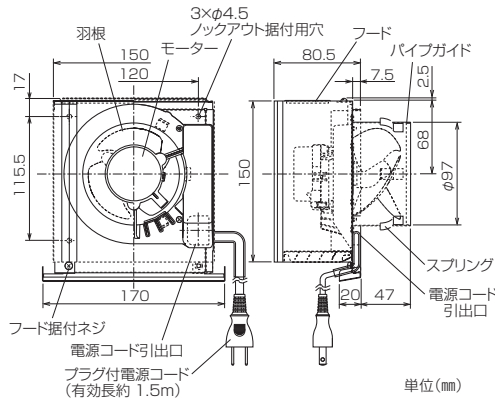
- 据付け、壁穴工事はお買上げの販売店・専門の工事店様が実施してください。  
(間違った据付工事は故障や事故の原因になります)
- 電気工事は電気工事の方が実施してください。
- この製品は屋外用です。
- トイレ・洗面所の二部屋換気で使用する場合、外風の吹き付けの強い場所で使用しますとトイレの臭いが逆流するおそれがあります。
- この製品の運転・停止にはシステム部材または市販のスイッチが必要です。

形名	電源仕様	適用パイプ	付属部品
V-08PPRD	電源プラグ	●塩化ビニル管…VP、VU (呼び径 100mm) ●鋼板管 (内径 100mm)	●木ネジ…2本

## 1. 安全のために必ず守ること

裏面の取扱説明書の「1.安全のために必ず守ること」をご確認ください。

## 2. 各部のなまえと外形寸法図



### 付属部品

木ネジ……………2本  
(φ3.5×32、ステンレス製)

### 適用パイプ

- 塩化ビニル管…VP、VU (φ100)
- 鋼板管 (内径 100)

## 3. 据付け前のお願い

- 雨線内に据付けてください。
- 高温 (40℃以上) になるところに据付けしないでください。(モーターの寿命が短くなる原因になります)
- アルミフレキシブルダクトへの据付けはしないでください。(振動の原因になります)
- 効果的な排気を行うために給気口を設けてください。
- 十分強度のあるところに据付けてください。
- 有機溶剤や酸・アルカリ洗剤が直接触れると塗装の剥離や製品各部の変色、発錆の原因となります。製品据付け後、外壁の吹付け塗装や酸洗いを実施する場合は、有機溶剤が製品に触れないように、必ず養生をしてください。また、養生をはずした後は、必ず製品を水洗いしてください。

## 4. 据付方法

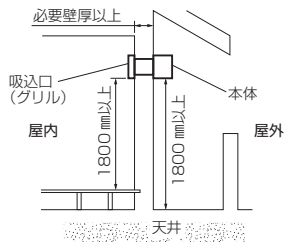
### 1. 据付け前の準備

1. 据付け場所を決めて壁穴をあける。

- 必要壁厚に応じて接続パイプの長さを決めてください。  
参考：P-13GL6 (吸込口グリル) 使用の場合

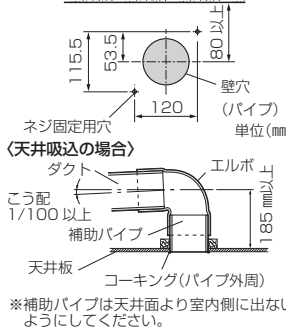
必要壁厚 (101mm) ≥ 本体埋込寸法 (47mm) + グリルのパイプ接続部 (50mm) + 余裕しろ (4mm)

- 本体および吸込口 (グリル) は右図のメンテナンス可能な位置に据付けてください。
- フードを取りはずすために、パイプ中心から天井までの距離を右下図のように確保してください。  
※点検・修理は屋外側からとなりますので、特別な足場等が必要となる場合は、お客様負担となります。あらかじめご了承ください。



2. 壁穴に接続パイプを確実に固定する。

パイプと壁のすき間はコーキング処理を施す。  
(天井吸込の場合右下図のダクト工事をする)



### お願い

- パイプは雨水の浸入を防ぐため屋外側に 1/100 以上の下りこう配をつけ、固定してください。
- 壁内への雨水浸入を防止するためパイプは室内壁面まで差し込んでください。

3. ネジ固定用の穴をあける。

- 外壁に右図のように下穴を2か所あけてください。  
※コンクリート壁に据付ける場合はφ3.5×32の木ネジ対応のカールプラグを使用し、指定の下穴を右下図の位置にあけてください。

## 2. 電気工事



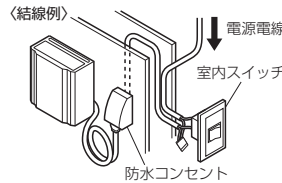
- 交流 100V を使用する  
(火災・感電の原因)



- 電気工事は電気工事の方が「電気設備に関する技術基準を定める省令 (及び同解説)」及び「内線規程」に従って安全・確実に行う (接続不良や誤った電気工事は、火災・感電の原因)

1. コンセント設置工事をする。

- 屋外にコンセントを設ける場合は必ず防水コンセントとしてください。  
(電源コードの有効長は約 1.5m です)



2. スイッチ設置工事をする。

- 市販のスイッチを使用する場合は適切なスイッチ (低ワット (0.5A) 用) を組合わせてください。

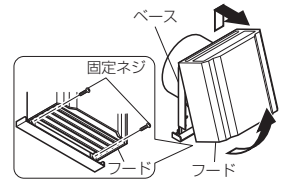
## 3. 本体の据付け

### お願い

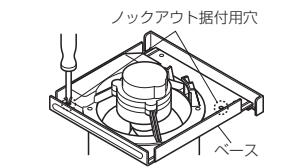
- 壁とダクトの間に防水工事がされていることを確認してください。

1. フード下部にある2本のフード固定ネジを取りはずし、フードを手前に持ち上げて取りはずす。

- ※ネジは着磁したドライバーに付かないため紛失に注意してください。



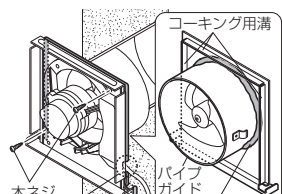
2. ベースのノックアウト据付用穴3か所のうち対角の2か所をドライバー等で抜く。



3. パイプガイドに市販のコーキング材で防水処理を施す。

4. 開口部が下側になるようにして、外壁まで配管されたダクトに差し込み、付属の木ネジ (2本) で確実に固定する。

- ※電源コードは必ず電源コード引出口より引き出し、電源コード引出口の縁にかみこまないように注意してください。
- ※電源コードを室内へ引込む場合、引込み穴は防水処理を施してください。



5. ベースの上部と側面部のコーキング用溝全体に、市販のコーキング材で外壁部の防水処理を施す。

- ※図のようにワイド水切の端部はコーキング材を薄くし、ヘラ等でならして防水処理をしてください。
- 電源コード引出口もコーキングしてください。
- ※コーキングをする際にコーキング用溝以外にコーキング材が付着しないように注意してください。



6. フードをベース上部に引掛け、フード下部にある2本のフード固定ネジで固定する。

7. 電源プラグをコンセントへ挿す。



## 4. 室内側吸込口の据付け

室内側に別売システム部材または市販の吸込口 (グリル) を据付ける。

- 吸込口 (グリル) の据付けは吸込口 (グリル) の据付説明書の指示に従ってください。

## 5. 据付け後の確認

据付けが終了した後、ベースとフードが確実に据付けられているか確認する。

## 6. 試運転

お客様立ち会いで試運転を行ってください。

- 室内スイッチの入・切で換気扇が運転・停止するか確認してください。
- 異常な音・振動などがなければ確認してください。

## 7. お客様への説明

裏面の取扱説明書に従って、正しい使い方をお客様または発注者 (オーナー、ゼネコン) や管理者へ説明してください。

### 長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

【本体への表示内容】  
※経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた右の内容を本体に表示しています。  
(設計上の標準使用期間とは)  
※運転時間や湿度など、標準的な使用条件 (右表による) に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。  
※本製品の設計上の標準使用期間は、製造年を始期とし、JIS C 9921-2 に基づいて算出したもので、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保障するものではありません。  
●本製品は取扱説明書記載の設置場所の想定時間を用いて設計上の標準使用期間を算出しています。  
●「経年劣化」とは長期期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。

標準使用条件 JIS C 9921-2			
電圧	単相100V	定格電圧による	
周波数	50Hzおよび60Hz	定格周波数による	
湿度	20℃	JIS C 9603から引用	
湿度	65%	JIS C 9603から引用	
設置条件	標準設置	据付説明書による	
負荷条件	定格負荷	裏面「8.仕様」による	
想定時間	1年間	換気時間*	2418時間/年
	使用時間	換気時間*	2193時間/年
		換気時間*	2614時間/年
		換気時間*	1671時間/年
注*) 24時間換気のもの、8760時間/年とする。			